

聞新城京

間島近況

▲通信機關 昨十月一日龍井村(六道溝)に郵便局を新設し郵便、電報取扱を開始したるが其後同年十二月清國にて清春を罷、局子街に至る電信線架設し今年三月より郵便事務を開始したり

▲我軍兵 以現今數十名を駐せしめ間島に於ける日韓人の保護、取締に従事せしめ居れるが駐屯地は現今龍井村と始し頭道溝、銅佛寺、局子街、下泉坪、臥虎山、伏沙坪、分道所と設置し附近分道所敷所を増設する方針なり

▲氣候 昨年来の経験によれば局子街にて盛夏の候は以下三十一度を上し日中も風なく積雪も深からず夏は京城程熱ならず又大陸の氣候とて夜間は極めて冷涼なりと要之間島の氣候は甚だ良好と云ひ難きも亦決して不良ならざるが如し統監府派出所開設以來日本官憲に對する

▲韓民の感情 始め吾が派出所員赴任の當時は果して永久的に斯る保護官吏を駐せしめらるゝや否やに就て一般韓人間に疑心を懷きたる様子なりしを近時派出所員全所樂に着手したる爲め彼等も大に安心し事の大小となく派出所の裁斷を待つて決する様なり初め著し彼等の疑心を生じたるは昔明治三十六年韓人李純允なる者間島官吏として派遣せられ韓人多大に同官を信賴し清人の横暴壓迫を制したるが日露戦争の時李は密偵へ逃走して行方不明となり其後韓人は以前より一層清人に猜められたるを以て今度の派出所員又李と同じく暫時にして引上げるに非ざるかと懸念したるものなり派出所員は来る十月落成の豫定經費は四萬餘圓なり

▲間島の農業 調査したる八田農學士の談によれば同地の農業は頗る有望なりと現在には最も不完全なる耕作法によりて相當の收穫を得居れり尙現今の人口の五倍に達しても土地に不足を感ずるが如き事なる可し次に間島居住韓人の多數は

▲一進會員 にして我官憲に對しても好意を表し居れり然るに過般同會員に非ざる韓人等數十名連署して清國又は露國に歸化せんとて北京及び聖都に赴き運動したるものもありたれどもは全く一進會員の感情衝突の結果數名の無賴漢にか唆され斯る暴舉に出でたるものにして何等の理由なく使張者數名は既に何れか逃走し現在間島内に居住し居らずと

青葉の雫

三色 青霞

灰色や白色の雫の浮雲が棚にいて、ドツド降るでもなければ霽れるでもない只時折疎雨がザザとこぼれ、深緑の南山の木葉に水玉を散く、底の砂が白い清らかな深緑水が、滴る落るの音、秋葉の雫に

新不如歸

本年の當地新大豆寄付直段は昨年に比し高かた下位に有るべく猶ほ其盛出期に至りては能く往時の盛況は持続し難かるべしと

新不如歸 (五十九)

百合子に石に化した女神の如く、身動きもせず、足柄に答ふべき返辭を求むるのであるが、西脇家の家名を救ふて、我身も懸けた人、家名を救つて行かうと思ふに、足柄が辭に従ふて肉體を汚すより外は、無く文藝操を守つて神まで足柄の希望を謝つた。百合子は、西脇家の家名は勿論、事と品に依つては、自分最愛の良人と離別するの悲境に沈まねばならぬ何れにしても、身を断るよりも苦しい場合に望むのであつたら、小さき胸一つを保持して、二つの中何れを採るべきかに躊躇するのであつた

韓國の大豆の將來

昨年九月當地穀物市場新大豆始めて出来直は九圓二十錢馬山物は下等品にして新年一月に入りては最高七圓八十三錢最低七圓に至り二月三月は最高七圓七十五錢最低六圓六十錢に及び去月は五圓八十五錢と云ふ新大豆を生ぜり此の如く逐日低落を低落を重ねたる結果に於て將來も亦た韓國大豆は到底清國の打撃を受けざる可らず殊に往時は清國の大豆輸出港たる牛莊港口は往時より其輸出を杜絶したりと云へども今や其路は滿洲鐵道大連港に轉じられて何等の支障を見ず隨時我國に輸出せらるゝ爲め絶へず高値を現はすに至らざるなり然かも降後の趨勢は益々韓國大豆に對して悲境に陥らるべし此の半島の產出高に數倍倍する北滿洲大豆は東洋鐵道によつて滿洲に出で夫れより海路我が故國に輸入せらるべきは必然の結果にして滿洲の如きは目下急其點に付點を居るに云ふ去れば



が、奈何考へて見ても、鬼の如く蛇の如き足柄に肉體を汚す事は假令西脇家の家名を救ふ事も、忍び得られぬので、断乎と足柄の希望を謝絶せやうと思ふ時、足柄は先刻より百合子の打洗ひた姿を見惚惚として眺めて居たが、其の結元の邊から横顔の美しさを最見惚惚を制する事が出来なくて、物言はず、行儀正しく膝の上に乘せた百合子の手を取るより早くグツと引寄せた、百合子は意外の寵愛に聲を掛けやうかと思つたが、召使などにかゝる狼が、力を満身に籠めて、捉へられた手を振り放さんと強擲したのであつた。

すると此時一間の襖をスラリと排けて、百合子一人只今歸りしを、顔を出したは姑の加加子であつたが、此の狀態を見るより早く、直と聲を閉切つて去つた。

▲京龍醫師案内▲

産科婦人科小兒科
山崎病院
京龍町二丁目
電話九一三

山崎宗三
醫學博士
山崎宗三

日韓病院

大漢門前

安東病院

京城旭町二丁目
電話九一三

植村病院

京城南山町二丁目
(電話三三〇)

高井醫院

京城壽町三丁目(元飯井病院跡)
(電話二六六)

久木田醫院

龍山旭橋通
意隨院入

上田病院

龍山老松町
電話二二八番

共立病院

京城西小門通り
京城醫院分院
院長 菅 恒

病室新築入院隨意

小兒科 花柳病
京龍町三丁目 中島醫院
院長 醫學博士 中島貞信

公 告

本月廿五日左の時刻を以て當會
議所内に於て補欠議員選舉
行候此段公告候也
明治四十四年七月二十日
東京日本商業會議所
會頭 中村 再 造

選舉時刻
二名
午前九時より十一時に至る
午前十一時より正午十二時に
至る

地 貸

一龍山元平式院前軍司令部拾五
間道路左側約五千坪
但し五十坪を一區として割貸
右將來多望の地貸附申度候條御
希望の御方は左記へ御來談被下
度候也
京城明治町一丁目
森村 太郎
林田 金次郎

賃貸或は賣却

京龍町通り一丁目
一貳層洋屋及洋式住宅
造作は専ら日本式修飾及設備は新設也
右所使用の處今同修繕すべきに賃貸或
は賣却可仕候間御方方は御來談被下
度候也
京城精成組事務所

陶磁器卸小賣

官製煙草元賣捌所
京城本町二丁目
陶榮商店
振替貯金口座五七五番

鰻 井

京城南山町三丁目
金

蒲 燒

京城南山町三丁目
天

日本澤庵

味噌醬油製造
乾物荒物雜貨詰
銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
濱物問屋 大上商店
(電話二五二番)

朝鮮 日韓書房

京城本町二丁目
二二日

●暴徒被害救恤金の分配

●暴徒被害救恤金の分配

を徴する事とし日本人其の他の外國人に
しては統監府の回答により一活して同府

を徴する事とし日本人其の他の外國人に
しては統監府の回啓により一活して同府

本人殺されたるものに在りては其の遺族

本人殺されたるものに在りては其の遺族

● 月夜花月樓に於て開催せられたる

● 月夜花月樓に於て開催せられたる

谷民長中村會頭各銀行家議員實業家及新

谷民長中村會頭各銀行家議員實業家及新

であります併し君は表面隠居なされても
實は隠居するに非ずして大に活動して爲

であります併し君は表面隠居なされても
實は隠居するに非ずして大に活動して爲

希望致します

希望致します

頭本元貞氏と予は中島氏の如き有力なる記者が我記者

頭本元貞氏と予は中島氏の如き有力なる記者が我記者

らす新聞また時々我々を壓せんとす
ことあり居留民としての生息は實に危

らす新聞また時々我々を壓せんとす
ことあり居留民としての生息は實に危


中島氏輩に謀者として成功したるのみならず同時に資産を作り御家族をも増さたり君の今回の辭任は眞に成功辭任なり

中島氏輩に諍者として成功したるのみならず同時に資産を作り御家族をも増さたり君の今回の辭任は眞に成功辭任なり

奮闘を繼續し居るなり

奮闘を繼續し居るなり

10


 笹の一葉(二) みどり生
 れ嫁入りのれ咄しをする直ぐ皆さんが眞
 ツ赤な顔をして下俯ひて仕舞ふのも尤も
 ですが併し私が笑にれ咄しをいたさうとし
 ますのはツウ大れに就てなので、申し
 上ぐる迄もなく女の一生の大事は此のれ嫁
 入りで之れはヨクノ注意いたしませんと
 實際後からでは什麼にも斯うにも取り返へ
 しのつかぬ事になつて仕舞ふのです、尙更
 ら昨午のやうに悪徳の夫とか又は自由行動
 中々意氣に先行する時代に來きまして

の爲め半身を壓迫せられ起きえなく、
 擡げど身動さずへ出来たる筈末に大に悶へ
 居る中基邊査及び生田李の尋遣査難付來
 同所の大阪市太田町延三郎の兩人と協力
 して土石を取除け漸く救ひ出したるが嘉太
 郎は幸ひに何等の負傷もなかりしと

藥物治療に奏効せざる者に告ぐ

催眠治療 身心諸病惡癖矯正
 身心諸病惡癖矯正
 京橋本町八丁目(北入初音町)
 催眠治療院 主 菅原 秀平

●日傭取の大樁幕 一昨日の午後八
 時三十七の一人の男長谷川町飲食店一
 カ事草川村フサ方に入り來り酒肴を注文し

衛官
 衛各病
 院御用

●弊所の牛乳は毎回各病院の検査上常に第一等の列にある精良牛乳なり
 ●牛場は總て韓牛を飼育せり洋牛と比較し韓牛の滋養分に富めるは世既に定評あり
 ●御注文次第遠近を問はず速に配達仕可候

京城大和町壹丁目

龍山萬里倉

電話百參拾參番

乳
 平山牧場
 乳敗賣

▲京城辯護士案内▼

辯護士 京城旭町二丁目
大久保雅彦
(電話八三九)

明治町二丁目七十五番戶
佛國教會表門前
辯護士 元判事 岩田仙宗
法律學士
電話三五四番

